

700号記念に寄せて

NO.100

泉南走ろう会

先づ
泉南スポーツ社
連絡先
0724(83)4653

走れ!! 走れ!!

教青長 山田 静也

私が泉南市教委に就任して一か月経たず、机上に「泉南走ろう会」の66が置かれていました。その時、「これは何かかな」と思いましたが、この会報はその後も毎号届けられたのです。寄贈と思いきや、楽しく読ませてもらうつもりで、すが、66の「お知らせ」に、年間会費二十四百円徴収、早めに納付しますと、スーとしますよと念のために申し添えてあるのが、私にとてはスーとしません。郵送料の切手代にでも納付しようかと思ったりしているうちに、号教が重なるようになりました。

市教委の行事の「歩こう会」とも違うしと思っていたが、だんだん正体がわかってきました。達健三会長の記事も、なかなか味があつて楽しいものです。また、よくぞ走りまくつておられるなと思つていました。昭和63年の「会員名簿」を見て敬意を表し、「88年度年間マラソン大会表」を見ては、改めておどろきました。最近では、達会長の何故山に登るのかと言いながり、外国の山に

まで行かれる馬力には、うらやましさを感じます。全く頭がさがります。

私は、戦前の岸中の陸上競技部員で、中距離が主でしたから、四百米から五千米までの種目に出場させてもらいました。だから、マラソンは走つたことはありませんが、若い時分は緑の山野を歩くことも、走ることも好きでした。ところが、戦中は海軍で戦艦の高角砲員として戦いに敗れ、戦後は学校現場に復帰して混沌たる世の中で新教育実践と叫びつづ、子ども達と共に立ち上ろうと懸命でした。そこで、だんだんと自然の中を歩いたり、走ったりする機会をなくしてしまいました。もう今ではだめです。高血圧が終着駅です。だから、皆さん方がうらやましているのです。どうか、機会をとらえて自然の中を、みんなにもまねながら走りまくってください。機会があつてこそ走れるのです。泉南走ろう会に会員数は二十名ぐらいいであつても、泉南市においてはたのしい特異な存在だと思ひます。皆さん方が活躍されることは、地域のスポーツをにかめることであり、自身の生涯スポーツを実践されていることになります。競技スポーツも大事ですが、生涯スポーツもさかんになければなりません。

どうか、会長のいわれる「継続は力なり」を旨として、自分の目標としているところまで完走してください。ひいては、自分らの後の健康の素になることでしょうか。

二百号、三百号、

さらに躍進へ



泉南市体育協会
会長 浅科 芳久

泉南走ろう会機関紙700号記念おめでとうございます。会員の皆様方の益々なる歩脚努力により、八ヶ岳地域のスポーツの振興をけがられ、泉南の自然を発掘された事に心より敬意を表します。

今年、世界の人口は切迫人を超えました。我が国は世界で一番の長寿国であり、急速に進む高齢化社会の問題はこれからの最大の社会問題であります。老いも若きも必ず迎えるこの老いの問題に對して、一日でも長く健康である事は、自分自身に對しては勿論の事、家族や周囲に對しても一番の孝行であります。

皆様は、走ろう会にありまして、泉南の緑の

森や林の中を走り抜き、健康の増進を回り
走る喜びを地域の皆様にかつらあえるよ
う、これかウも頑張って頂きたいと願ってあり
ます。
泉南走ろう会機関紙の二〇〇号、三〇〇号と
増々の発展を期待しております。



機関紙発行一〇〇号を記念して

会長 遠 健三

もうジョギングブームはすんだ。これからの
時代はウォーキングだ。今、全米においてウォーキン
グは爆発的に盛んだと、世の中いわれてお
ります。何故アメリカを引合いに出すのか、
不思議でならない。なにも走れるか、体力
のある人は歩かなくても走ればいい。私の
ように、お年は、お年の人には、もう歩く事
ですな。これなう仕方がない。
ジョギングの時代は終ったのでしうか。

今回「泉南走ろう会機関紙」発行一〇〇号
を記念して、御多忙の中、山田泉南市教
育委員会教育長さんかウ、また浅羽泉
南市体育協会、会長さんより、励ましの御言
葉を頂き、感謝にたえません。石橋く御礼
申し上げます。

両先生の励ましの御言葉にもありますよ

うに、私達の走ろう会発足の動機は「大前提」は
「地域スポーツの振興」そして「緑豊かな泉南市
を、走ろうであった。と申しますと、「石橋君走
らないか、健康にも良いしな」として「我々が走
て、いると皆んなが見るせや、アスにもなるよ」走
る仲間ができ、泉南市地域の交流にもなるよ」栗
外泉南は緑が多いし、自然を愛する、いい事だ
と思うよ」とすると石橋君は「ほんまに走るのか、
それならば、私入院手術する。それが若ってか
ら走る。」入院が十日程ですむ手術「ほな、そうし
ようか、私の友達も連れてくる」。そして走ったの
は、昭和五十六年九月であった。コースは毎月、湯
所(コース)を替え、青少年の森への道、畦の谷
高倉林道、上之郷、日根野、そのうち、大鳴山
まで走る。その時の走ろう会のモットーは「フルマ
ラソンを完走しよう」であった。機関紙発行
の封筒にも印刷してあった。

こうして、ボチボチ走れば会員も増え、地域
のスポーツ振興にもなるよ。そうでない、何
の目的もなく走っていると、あれは「変り者だ」
「変人だ」といわれる。山を走れば四季の変化を
感じる。皆んなが、自然を愛することになる。
そして「精進豊かな人間」てな事を考え走
たのが会の目的であった。

誌売新聞紙上をお借りして「ハイキングと自然保
護」キャンペーンに取り組んだこともあった。これが、
残念ながら、参加者が一人で成功しなかった。
「十年一日」遅々として、会の目的が進まない。会
員が増えたり減ったり、若ギングは一時的ブー

ムであったか。
私は思う。教育長さんの御言葉に
あるように「自身の生涯スポーツとし
て機関紙発行一〇〇号を記念して、決
意も新たに、二〇〇号をめざして走り
ましょう。継続は力なり」私は会員
の皆さんに期待いたします。

追伸

機関紙発行一〇〇号と言いましても、毎月
発行することは大変です。原稿は皆自
んから、バラバラでありすが、頂き、後
は私の独断と偏見による毒舌ですが、
これは簡単です。走っているうちにイン
スピレーションが湧き、「気呵成」に書き
ます。これを浄書、整理する。編集長
石橋夫人が大変です。誤字、脱字が多
く、ほとほと閉口すると思われます。一
ヶ月位は直ぐに來ます。毎月、御多
忙のなか、浄書発行、手間です。やか
いです。そのお陰で今日一〇〇号を迎
えました。この紙上をお借りして会員
と共に、厚く御礼申し上げます。有難
とう御座います。今後ともよろしく
お願いいたします。

また、機関紙発行一〇〇号を記念
して原稿を寄せて下さった友有難
とう御座います。一〇〇号からと、
充実した機関紙にならうと、
皆様の原稿をお願いいたします。

やったぜ

栗野原泰正

泉南走ろう会100刊を迎えることになり
おめでとウございませす。一口に100刊といつても
大変な事と思ひます。これはひとえに遠
会長をはじめ事務局の石橋さん、それに
忘れてはならないのは石橋さんの奥さん(何
時も原稿を清書してくださっている)のおか
げだと思ひます。

い生もこの間にフル10回、六時間走、100ウチ
ク100ラン、それに教えきれないほど大いに参
加させていただきました。有難く思つてお
ります。これから「継続は力なり」の言葉
どおり走りつづけたいと思ひます。

書面で失礼ですが、二回の目の手術に關
しまして「走ろう会」よりお見舞をいただき
まして有難度うございませす。お礼申し上げ
ます。



浅野 晃

100号、おめでとウございませす。三重より
いつも泉南のことを想ひながら機関紙
を讀まさせていただいておりました。

思えば、新家の公民館で四名が顔を合せて
て発足した走ろう会。おかげさまで、たくさん
の人と知り合つて、ともに走ることができました。
今後とも泉南走ろう会の一員として、走りた
いと思ひます。

近況
子供ができて四月、「美樹」おとうさんとして
います。お母さんには務めてません。こんど、
「ねむの里ハーフ」があります。どうですか。
いい大会なのでおすすすめします。

百号に寄せて

牧野源泉



その一
入会して一年と少し、閑中忙しです。会長
をはじめ会員の皆様の心につれ、多くを学びな
がら、楽しく走らせてもらっています。そこで
謝して思う。
” 走りに喜びあり
走りに苦しみあり
「走ろう会」に仲間あり

その二

五月の連休に事務局から会誌のバックナンバ
ーをお借りして、会発足以来の歴史を興味深く
辿らせてもらいました。会自体も走る生き物、
上り下りしながら、長い道のりをマラソンして

いるかのように思えました。それと同時に
きれいな字体で、時に気のきいたアドリ
フを入れて、読み易く編集している事
務局のご苦労が窺われました。
編集長、石橋さんの奥さんは、まさし
く陰の功勞者です。これからはまた、よ
ろしくお願いいたします。

100号を迎えて

細井文裕

私も走ろう会に入りました。約六七年
になろうとしていました。走る仲間とい
ますと、色々のことがあつて楽しい時間
がすごせませす。この間に、結婚・子供が
できたりといそがしく、時間があまり
なくなつて走ることがあまりできません
が、これからもゆっくりと走ったり歩い
たりと楽しく長く続けていきたいと
思ひます。



山頼良二

例会にはほとんど参加していませんが、毎月おくられてくる新聞が楽しみです。会長さんの紙上でのおさそいに答えられたいのが残念です。この数年、駅伝のみの参加となっています。もっとも昔、いためた腰が長距離には無理な気がするので(きたえり次第で大丈夫な気がします)。私としては、これでも満足しています。みなさんと顔をあわせられるのが大へん楽しみです。それもレースの緊張感の中で。せ山で走ってから、子どもも入ってきました。私は小学生の頃、兄にさそわれ、朝のランニングを霜の野道で始めたのがきっかけです。それだけで、クラスメイトより随分はやく走れて大きな自信となりました。我が子はじめ学校の子供達にもできるならば、自信につながる走りを見せてやりたいと思う此頃です。



吉野谷隆司

京南走ろう会に入会してから、フルマラソンを完走しようを合言葉に七年が過ぎました。今、無精にフルマラソンをもう一度走りたいと思う此頃です。

よくランニングは、一生の長いお友だちといいますが、京南走ろう会も一生の長いおつきあいをしたいものです。

さて、岸和田在住の私は例会になかなか出られなくて申し訳ないのですが、その分、仕事で長居公園の近くなりで、秘密特訓でがんばりたいと思うのですが、すぐ家に直帰してしまいます。

又、みんなでいっしょに長居公園を走りましょう。そして、天びん一杯で一杯飲みましょう。



斎藤加寿子

いつもいつも御苦勞様です。毎回楽しくおもしろく読ませて頂いています。読み終えると、あー私も走らなくちゃとスズとやる気がわいてきます。それが実行にうつるかどうか、ちょっと疑問なんですけど……さて、近況を、

今年はずっと忙し。フライベイトは休みが多くなりません。(過期もこえかけだというのにエーン)おかげで毎年参加していた一庫ダムも参加できなかった。残念……ところが、それにかこつけてトレーニングもまったく全然という状態。おかげで、私ふくらしました。

さて、来年はもっと本気で取り組もうかな?



滝本 務

京南走ろう会機関紙発刊100号おめでとうございます。大変ごぶさたいたして居ります。

発足当時は何度か参加させて頂きました。どうも三流ランナーの域を抜け出せそうになく、早朝ランニングをしようと思っても、朝食を省くのが、限られた時間しかなく、朝食を省くのは、ともかく生理現象で省くと、それはもう、たいへんで、それじゃ夕方走ろうと思うと、暗やみで足をくじくのが、せきやまと、家族からやめてくれの連発であります。

とんない生ではありませんが、機関紙だけは楽しく読ませて頂いて居ります。これから京南走ろう会機関紙が200号、300号と続くことをお祈り申し上げます。

井上 隆

泉南走ろう会機関紙が100号を発刊するとの事ですが、私は走り走ろう会に入会して三年がたちました。入会する前は、20分も走ることができませんでした。入会して会長をはじめ、皆様の御指導でフルマソンをも完走できるようになりました。

今は週に三日ぐらいのランニングで、今年の大塚山マラソンの参加については思案中ですが、マイペースでこれからわゆる走り走りたいと思っています。



片木 和子

年号は平成に新しく変わりましたが、私の生活は何の変化もなく、昭和と同じく、育児と家事に追われています。

ジョグはやりたいと思いつつも、家からスーパーまでの短距離走でおわっている今日この頃です。

それでも主婦業というのは思いつけなくも、因体労働でジョギングをして、より〇kgもやせられました。—おかげさまで—ジョグでも、サウナでも、菜でもやせら

れない方、せひうちの家事を手伝ってみて下さい。—特に男性の方—

そうすれば、自分はやせると、体力はつくし夫婦円満、一石二鳥です。

では、くだらない原稿で紙面をうめてしまいましたが、みなさん、よいお年を。そして、すがすがしい新年の汗を。

近況報告

川本 敏彦

今年のランニング人生を振り返ると、まあまあ成績であったと思う。

しかし、泉南ミニマラソンでの完敗はショックであった。来年は練習量をふやすために、自転車通勤しようか、とも考えている今日この頃です。



名目事務局

石橋 義春

年末の御忙し中、100周年記念機関紙に向けて、山田先生、浅羽会長をはじめ、会員

の皆様方に、無理じいの原稿を要求致しまして、誠に恐縮しております。

特に山田先生は議会中の御用繁多にも拘らず、また浅羽会長は京都駅伝東京行にも拘らず、御投稿を頂き、厚く御礼御礼申し上げます。会員の皆様方の中でも、御一人御一人名前をあげる訳にはいきませんが、御多忙にも拘らず原稿を書いて頂きありがとうございます。

走ろう会発足のきっかけは、遠会長の原稿にある通りでございますが、この八年余り、100号に到るまで、一回として欠かさず原稿を持ってきて下さったのは、遠会長であります。「石橋君、忙しいのにすまんのう」を100回お聞きした勘定になります。99号の機関紙を発行する数日前、遠会長の御母堂様が他界され、99号はM先生と私の原稿でうめ、会長抜きで発行せざるを得ないと思っていた矢先、会長が来られて、「ぼくは書くよ」とおっしゃられた時は、頭が下るというよりは、申し訳ない思いをした位でした。

会発足から八年余りでございませう。人の入れかわりもありましたが、私事ながら、自分にとって走ろう会が一番楽しい団体だと思っております。

何が青春時代の青くさいにおいがするから
です。若き時代満たされぬ思いで過し
てしまった事務局でございませうが、走ろう
会で燃焼したいと思っております。
尚、後になりましたが、機関紙や例会
で公の為に御尽力を頂きました会員の
皆様方に厚く御礼申し上げます。



地島治男

20代最後の年に入公させていただき、30
代にはフルマラソンという目標のもと、いく
つかの行事に参加してきました。
現在、中学校のクラブ員とともに参加し
てきました。
現在、中学校のクラブ員とともに週に1
2回ランニングを行っています。最近ほ
少しタイムが落ちてきて、多少あせり
を感じることが多くなりました。

また、過去数回参加させていただいている
阪南駅伝大会の記録も年々悪くなってい
るのがつらいです。
これから、フルマラソンを目標にがんばり
たいと思っておりますのでよろしくお願ひします。



石橋正子

走ろう会の機関紙に原稿を書くのは初
めてです。

いつも会長さんや会員の皆様様の原稿が
り書いているので、100号記念に私も書く事
にしますと、名目の事務局長に話したのは
よかったです。が、

さて、いざ書くとなると、何を書いてよ
いのか困ってしまいます。毎回、逡巡会長の苦
勞を実感して、

私も知らず知らずのうちに、100号まで皆
様と機関紙を通じてお付き合いさせてい
ただいてまいりました。毎回、執筆で申し訳
ないと思ひながら、

この走ろう会が、日頃、それぞれ職場も住ま

いも違い、なかなか都合で例会にも
出席できない人が多いのに、大会な
どで久し振りに逢っても和気あい
あいとして居るのは、やはり会長さん
の人柄が機関紙を通して、皆様と
かよい合っているからではないでしょうか。
私も毎回楽しく書かせていただ
いております。
これから活な文字と未熟な構成
で、読みにくいと思いますが、一生懸命
命書かさせていただきたいと思つて
います。
尚、皆様様の原稿は到着順に書
かせていただきます。

